

平成 25 年度 AOTULE 加盟大学以外のアジア・オセアニアの
大学との教育研究連携助成 採択者

| | |
|---|--|
| 〔研究者〕 | |
|  | 氏名 関口 秀俊 (せきぐち ひでとし) 所属 化学工学 職名 教授 |
| 〔タイトル〕 | |
| 仁荷大学との日韓学生セミナーの開催を通じた学生交流と教育研究連携 | |
| 〔背景〕 | |
| <p>本申請に係る日韓学生セミナーは、2000 年の第 1 回仁荷大学での開催から日韓相互に会場を移しながら、これまで 8 回開催しており、今年度の第 9 回は仁荷大学で開催が予定されている。このセミナーは、日韓の学生が協力して、予定や発表プログラムの構成、当日の運営まで行う学生主体のセミナーである。セミナーでは、各自の研究を英語で発表後、双方の教員も交えてディスカッションするものであり、今春、研究室所属した 4 年生から博士課程学生まで、参加する学生は全て英語での口頭発表を行い、討論に加わる。初期のセミナーは、企画の経緯から、主体となる研究室の主な研究テーマであるプラズマ関連の研究に携わる学生のみが参加して行われていたが、第 4 回からは日韓ともプラズマ関連以外の化学工学分野の研究室からも学生が参加するようになり、化学工学全体に関する学生セミナーへと、規模を拡大しつつある。</p> | |
| 〔目的〕 | |
| <p>この学生セミナーには、仁荷大学側から参加する学生や教員も年々増加しており、継続性の観点から多くの東工大生が参加し、第 9 回を盛大に開催する意義は大きい。特に、このような学生主体のセミナーは、参加する学生にとって、今後の自分の研究に多大な影響を与えるだけでなく、英語でのプレゼンテーション能力の向上、ディスカッション能力の養成、さらには語学力への意識の高まりや、自分の研究内容やプレゼン能力の客観的な把握など、学生自身の研究能力の向上や国際性涵養に非常に効果がある。そして、なによりも、異文化に触れ、そして他国の学生と知り合いになることは、将来、グローバル社会で活躍が期待される学生にとって貴重な経験や財産となることは間違いない。そして仁荷大学とはこのセミナーを通して、化学工学分野、さらには工学全体の分野で、将来に続く教育研究連携体制の構築を目指す。</p> | |
| 〔実施計画概要〕 | |

本年度の第9回は、8月29,30日に仁荷大学で開催することが決まっている。今のところ、本学教員5名(教授2名、准教授1名、助教2名)と化学工学専攻・化学工学科所属の大学院学生31名が、韓国仁荷大学を訪問し、学生セミナーで発表する予定である。上述したように、セミナーは学生主体の形態をとり、既にプログラム作成やその他のアクティビティは、双方の大学の学生幹事が担当している。当日の進行や座長も全て学生が担当する計画で、質疑応答の際にも教員からの助言だけでなく、学生も積極的に参加する。また、ラボツアー、大学施設、研究室見学や次年度打ち合わせ会など、学生同士のコミュニケーションの場も多く設け、深い交流が学生レベルでも行えるように配慮している。教員間も交流を深めると共に連携の協議の場として、教員同士の意見交換会も予定し、学部生の相互短期留学や大学院生の短期研究留学の可能性などの教育連携や研究連携について情報交換や議論を行う予定である。

セミナー計画および旅程は以下の通りである。

8月28日(水) 出国

8月29日(木) 午前： 学生セミナー、 午後： 学生セミナー

8月30日(木) 午前： 大学施設見学、ラボツアー、
午後： 教員間意見交換会 & 学生幹事次年度打ち合わせ

8月31日(土) 帰国